

2023～ 障害者福祉研究Ⅱ (基礎的理解と臨床)	単位数	履修方法	配当学年
	2単位	SR	1・2年
	担当教員	関川 伸哉	

■授業のテーマ

障害者福祉の基礎的理解の整理と事例から学ぶ生活モデルに基づくアプローチ

■授業の目的

障害者福祉の歴史等を整理する中で、現代社会における障害形態の特徴や傾向等について学び、共生社会の実現(マクロレベル)について学修するとともに障害者福祉と共生社会について考察を深めることを目的とする

■授業の到達目標

- ・ 障害者福祉に関するベースとなる知識の整理を行い自らの言葉で他者に説明することができる
- ・ 今日における障害の特徴や傾向等について医学的な側面を含め説明することができる
- ・ 共生社会をベースとした今後の障害者福祉について事例をもとに考察・説明することができる

■授業の概要

現代社会(本講義では戦後)の障害者福祉について学ぶ中で、「障害者福祉とは」の基本の整理を行う。次に今日における生活課題の整理を行う中で、地域共生社会の実現に向けた社会福祉専門職の専門性について考察を行う。また、今日の障害特性等について事例をもとに確認しながら、障害者福祉と共生社会について学修を行う。

■在宅学修

(1) レポート課題

課題 1	「障害者福祉に関わる理念の変遷と価値」および「障害者福祉の世界的動向(国内は含まない)」についてまとめ、「障害者福祉とは」について論考せよ	【提出期限】 <input type="checkbox"/> 対面授業1週間前まで <input checked="" type="checkbox"/> 対面授業前日まで <input type="checkbox"/> その他 ()
課題 2	「今日における地域共生社会の意味と重要性」および「これからの地域共生社会と障害者福祉」についてまとめ、障害者を取り巻く現状やその抱える課題について論考せよ	【提出期限】 <input checked="" type="checkbox"/> 対面授業後1ヶ月以内 <input type="checkbox"/> 受講年度の最終レポート受付日まで <input type="checkbox"/> その他 ()

【要確認】 在宅での印刷教材等による学修の報告となる「レポート課題」の他に、オンデマンドを含むスクーリングでは「スクーリング事前課題」「スクーリング事後課題」が設けられています。スクーリング課題(予習・復習)がレポート課題1・2に相当する場合、それとは別に設けられている場合があります。この後に記載のスクーリングの項の各課題についても確認してください。

(2) アドバイス



- ・ レポート作成の際には、5つ以上の参考・引用文献を用い、最後に記載してください
参考及び引用文献記入例：
1) 関川伸哉：高齢障害者支援のあり方と実践，医歯薬出版株式会社，22-34，2016
- ・ レポート作成の際、引用箇所がわかるように必ず本文中に引用番号を記載してください
記載例：○○○が，内部障害者の自立支援につながる¹⁾

- ・必ず、以下の章立てを行ってください
- 1. 障害者福祉に関わる理念の変遷について
- 2. 障害者福祉の価値について
- 3. 障害者福祉の世界的動向について
- 4. 障害者福祉とは？
- 5. まとめ

参考及び引用文献



- ・レポート作成の際には、5つ以上の参考・引用文献を用い、最後に記載してください
- ・レポート作成の際、引用個所がわかるように必ず本文中に引用番号を記載してください
- ・必ず、以下の章立てを行ってください

1. 今日における地域共生社会の意味について
2. 今日における地域共生社会の重要性について
3. これからの地域共生社会と障害者福祉について
4. 障害者を取り巻く現状やその抱える問題について
5. まとめ

参考及び引用文献

(3) 在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(・キーワード)	学びのポイント
1	戦後の障害者福祉について整理する①	戦後間もない時期の日本、制度の整理	1945年～1980年の日本の動向
2	戦後の障害者福祉について整理する②	日本の高度経済成長期後、障害形態等の変化	1980年～2000年の日本の動向
3	戦後の障害者福祉について整理する③	措置から支援費、世界の動向	2000年以降の日本の動向
4	戦後の障害者福祉について整理する④	ノーマライゼーション、国際障害者年	1945年～1990年の世界の動向
5	戦後の障害者福祉について整理する⑤	CBR、ICF、国際動向	1990年以降の世界の動向
6	障害とは？	障壁、マイノリティ、スティグマ	3障害以外の視点から考える
7	障害者福祉とは？	社会、生活、共生	上記を(1～6)踏まえて考察
8	障害者福祉実践の価値とは？	社会福祉の知識・技術・価値	上記を(1～7)踏まえて考察
9	地域共生社会とは？	共生、地域、村社会	厚生労働省等の定義をもとに、各自の言葉で考察
10	何故、地域共生社会の実現が重要なのか？①	Society.5.0、VUCA、人口減少	上記を(1～8)踏まえて考察
11	何故、地域共生社会の実現が重要なのか？②	便利、自立、村社会	上記を(1～8)踏まえて考察
12	地域共生社会と障害者福祉①	生活上の課題、地域生活	上記を(1～11)踏まえて考察 主に生活の場から考える
13	地域共生社会と障害者福祉②	就学、就労	上記を(1～11)踏まえて考察 主に学び働く場から考える
14	地域共生社会と障害者福祉③	ライフサイクル、移動	上記を(1～11)踏まえて考察 主に社会参加から考える
15	まとめ	ソーシャルインクルージョン	上記を(1～14)踏まえて考察

■スクーリング

(1) スクーリング事前課題 (学修時間目安: 8 時間以上)

- ・在宅学修15のポイントを踏まえて振り返り学修を行ってください
- ・上記は、可能な範囲でノートにまとめスクーリング時に持参してください
- ・スクーリングでは、事前学修内容を踏まえてディスカッションを行います

(2) スクーリング授業計画

	授業の内容	授業の方法
1	障害者と障害者福祉	オンデマンド
2	障害者の生活	オンデマンド
3	障害者福祉の基本にあるもの	オンデマンド
4	マイノリティと差別や障害	オンデマンド
5	事例から考える障害者福祉①	オンデマンド
6	事例から考える障害者福祉②	オンデマンド
7	オンデマンドスクーリングの振り返り	対面
8	医学・社会・生活モデルから考える障害者福祉 (事例含)	対面
9	医学・社会・生活モデルから考える障害者福祉 (事例含)	対面
10	まとめ・確認	対面

(3) スクーリング事後課題 (学修時間目安: 8 時間)

- ・スクーリング時に配布した資料を全て読み返し、必要に応じてノートにまとめてください
- ・その際には、参考図書等を用いて内容の確認・追記を行うようにしてください
- ・スクーリングで学んだ内容は、自分の言葉で他者に伝えられるように、言葉にして繰り返し学修してください
- ・上記を終えた後にレポート学修に取り組んでください

■評価の方法・基準

- ・課題1レポート (20%)、課題2レポート (20%)
- ・スクーリング (60%)

■参考文献 (*印=大学から送付される必読図書)

- *1) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟『障害者福祉 第2版』中央法規、2025
- 2) 福島 智『ぼくの命は言葉とともにある 9歳で失明18歳で聴力も失ったぼくが東大教授となり、考えてきたこと』致知出版社、2015
- 3) 伊是名 夏子『ママは身長100cm』ハフポストブックス、2019
- 4) 涌井 学『前科者』小学館文庫、2021